



本郷公民館では、この度「本郷地区地域学習テキスト作成委員会」を立ち上げ、歴史・文化や行事など地域を総合的に捉えた小冊子（A4・カラー・22頁）を作成しました。インターネットにも掲載予定。今後の地域づくりや学校等での活用が期待されています。

「地域学習テキスト」作成「地域づくり」



平成 27 年 9 月 1 日現在

人口	14,318 人
男性	6,940 人
女性	7,378 人
世帯数	6,456 戸

納涼・夏祭り

浅間町会
8/11 ~ 13
夏祭り

水汲町会
8/2
夏祭り

洞町会
7/25
夏祭り

三才山町会
8/2 夏祭り
流しそうめんにつづみ

大村町会
8/12
青山様 ぼんぼん

南浅間町会
8/6
青山様 ぼんぼん

横田3~7町会
8/2 ふるさと祭り
暑い〜！かき氷が大盛況

横田1町会
7/29 青山様 ぼんぼん
威勢良く！かわいらしく！

惣社町会
8/3
青山様 ぼんぼん

8/14 納涼祭

人物紹介

浅間第1町会 久保田 宗孝



“いざ”という時
「仲良し力」

雪を戴く常念や乗鞍の眺め、心身ともに暖まる温泉、そして何よりも人々との交流。

全国を転々としたあと、この地を「終のすみか」と決めて本当に良かったと思っております。暮らし始めて3年後の平成22年に町会長を務めることになりました。

前任の中村廣一さんから引き継いだ総会資料の表紙に、「みんなで助けあい、安心・安全な町にしよう」と書いてありました。また、最後のページには当時も今も町内公民館長の姥貝勇さんが作成した地図が掲載されていました。町内全ての家の名前入りで、防火水槽、消火栓、防犯灯、避難場所が漏れなく書き込まれていました。

お互い顔と名前が一致し、気軽に声をかけ合える町、防犯・防災に真剣に取り組む町、そんな町であり続けたいという強い思いを感じました。

この町を支えているこうした人たちの思いを忘れてはい

けない、そう心に誓いました。浅間温泉第1町会では7月に「ふれあい会食会」、2月に「横手の春祭り」(春よ早く来いと願う会食会)を開いています。毎回80人もの老若男女が集い、仲良くみんなで歌ったり、話をしたりして楽しい時間を過ごします。

何度か開催するうちに、単に大勢が集まり楽しむというだけではない大切な意味があるとと思うようになりました。仲が良ければ「いざ」という時の力になると思うのです。隣近所への声かけ、炊出し、共同生活、どんな場面でも励ましあい力を合わせる事ができるはずですよ。

町会長としては、防犯灯LED化を早期に実施したことや、当時の防災部長姥貝知裕さん(現町会長)と枯れた古井戸を災害時用井戸として復活させた程度でありお役に立てませんでした。逆に町内の皆さんから「町会とは何か」を教えられた3年間でした。最後に、町内公民館長が今年の総会資料の地図に書き加えた言葉を紹介します。「いざ」という時、たよりにするのは地域の絆!!」

(取材 Y・M)

8/8~9 桜柿羊の里 農業小学校夏キャンプ

洞地区女鳥羽川河川敷にある水辺公園にて、子どもを中心に50人ほどが集い、川にニジマスを放し、つかみ取りをし塩焼きにして食べたり、薪で沸かす昔ながらの木桶風呂に入ったりと、子ども達の笑顔と歓声が絶えずあふれる河川敷での時間でした。

(取材 O・K)



9/6 市医療救護所訓練開催 (会場 女鳥羽中学校)

市総合防災訓練の一環として本郷・岡田の防災関係者参加のもと訓練が行われました。いざという時の災害に備え、こうした地域ぐるみの訓練の大切さを再認識しました。

(取材 N・M)



公民館講座等

8/29 文化施設訪問(文化委員会)

バス2台、64人が参加し昨年世界文化遺産に登録された富岡製糸場を視察しました。明治政府の掲げた「殖産興業」の一翼を担ったこの施設、当時西洋の技術と日本独自の工法が融合してできた世界最大規模の製糸工場。先人の技術力の高さと先見の明に感銘を受けました。

(取材 S・T)

世界文化遺産 富岡製糸場



7/22 ナイターグラウンドゴルフ (体育委員会) 48人参加



ロビー展 (7月~8月)

中学生絵画展

女鳥羽中:30点 旭町中:11点



原爆と人間展

(図書委員会)



9/5 化石を掘ろう

34人参加



8/11 親子料理教室&科学実験教室

39人参加(JA等女性3団体共催)



7/31 七色おばさんお話し盛り

(図書委員会) 約70人参加

